

平成 31 年 1 月 30 日

各 位

平成 30 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
札幌（北海道）をモデルとした地域創生のための IT 人材育成と企業連携推進事業
実施委員長 吉田 松雄（学校法人吉田学園 理事長）

IT 企業経営者・管理者向けセミナー（無料）のご案内

アジャイル開発の現状について

拝啓、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご厚意を賜り厚くお礼申し上げます

さて、平成 27 年度より文部科学省の「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」におきまして、吉田学園情報ビジネス専門学校（学校法人吉田学園：札幌市）は「クラウド・スマートデバイス時代の地域版社会人教育プログラム開発と実証」を受託し、日本電子専門学校（東京都新宿区）、名古屋工学院専門学校（名古屋市熱田区）、大阪情報コンピュータ専門学校（大阪市天王寺区）や一般社団法人全国専門学校情報教育協会、一般社団法人 Ruby ビジネス推進協議会の皆様と共同で、「アジャイル開発に関する技術者育成プログラムの開発」事業を推進してまいりました。昨年度は、これまでに開発した社会人技術者向け教育プログラムを利用した「Ruby によるアジャイル開発技術者育成研修会（中級編）」を、10 日間という長時間の講座として札幌にて開催させていただきました。

今年度は、同事業の新たな展開として「札幌（北海道）をモデルとした地域創生のための IT 人材育成と企業連携推進事業」を受託し、専門学校生を対象としたアジャイル開発技術者育成プログラムの実施と、札幌地区におけるアジャイル開発に関する企業連携を推進することになりました。

最近までは、最先端のベンチャー企業などがエンジニア主導でアジャイル開発を実践してきました。しかし、今やアジャイル開発の効果が顧客（ユーザー）にまで理解され、顧客側からアジャイル開発を依頼される事例も増えています。本セミナーでは、環境や会社規模が異なる 3 社からアジャイル開発の事例をご紹介しますので、受講される皆様方の今後の事業展開のご参考にしていただける内容と確信しております。講演者との交流会も予定しておりますので、アジャイル開発にご興味をお持ちの皆様にはぜひともご受講いただき、これを契機にアジャイル開発への第一歩を踏み出していただきたいと存じます。年度末でご多忙と存じますが、ぜひご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

問合せ&申込先

一般社団法人全国専門学校情報教育協会

担当：吉岡 正勝 E-mail yoshioka@invite.gr.jp

〒164-0003

東京都中野区東中野 1-57-8 辻沢ビル 3F

TEL 03-5332-5081 FAX 03-5332-5083

IT 企業経営者・管理者向けセミナー(無料)のご案内(札幌開催)

アジャイル開発の現状について

開催要項

1) 日時: 2019年2月19日(火)13時30分から 受付13時から

2) 場所: 吉田学園情報ビジネス専門学校ホール

札幌市東区北15条東6丁目(地下鉄東豊線「東区役所前」徒歩5分)

TEL 0120-607033

<http://www.yoshida-jobi.jp/access/>



3) スケジュール:

13:30 - 13:40 (10min) オープニング 主催者挨拶

13:40 - 14:40 (60min) 講演①「アジャイル開発の普及状況と具体事例」

株式会社永和システムマネジメント 岡島幸男 氏

アジャイル開発が日本に紹介されてから10余年経ち、現在では、スタートアップによる新規サービスの開発から、大企業による比較的大規模な開発まで、様々な分野でアジャイル開発が適用されています。今回の発表では、アジャイル開発の概要と普及状況に加え、具体的な事例を生々しくお話させていただきます。

14:40 - 15:10 (30min) 講演②「アジャイル&Ruby on Railsによる社内システム開発事例紹介」

株式会社日立ソリューションズ 業務革新統括本部 IT技術推進センター
江古智則 氏、未 東鋒 氏

弊社では、システム開発プロジェクトの形態により、さまざまにアレンジしたアジャイル開発を行っています。アジャイルの考え方は、IT技術者の働き方改革に繋がる重要なものと捉えています。今回は、アジャイルプロセスによる社内システム開発に、利用者満足度向上を意識した人間中心設計

レビューと高生産性開発言語である Ruby on Rails を適用した事例をご紹介します。

15:10 – 15:40 (30min) 講演③「自社プロダクトと受託開発のアジャイル開発事例」

株式会社アジャイルウェア

川端光義 氏

当社では自社プロダクトの「Lychee Redmine」、「GIJI」の開発および各種の受託開発ともにアジャイル開発を採用し、どちらも変わらないプロジェクト管理をしています。アジャイル開発とは、プロジェクト管理手法の変化だけではなく、個々の考え方にも影響します。アジャイル開発を取り入れることで、組織全体の空気が変わり、新しい風を起こすキッカケにもなり得ると考えています。本セッションでは、アジャイルウェアの組織文化とともに、アジャイル開発の事例をご紹介します。

15:40 – 15:55 (15min) 休憩

15:55 – 17:00 (65min) パネルディスカッション

コーディネータ:

株式会社 FM.Bee

高畑道子 氏

パネラー:

講演者全員

17:00 – 18:00 (60min) 交流会

4) 講師プロフィール:

■岡島 幸男 氏

株式会社永和システムマネジメント Agile Studio Fukui 所属

金融機関向けの情報系システム開発、Web 開発のアーキテクト、組込開発のマネジメントの経験を得て、現在は Agile Studio Fukui にて、クラウド+アジャイルによる受託開発事業を担当。著書に『ソフトウェア開発を成功させるチームビルディング』(ソフトバンククリエイティブ)。『受託開発の極意—変化はあなたから始まる。現場から学ぶ実践手法』(技術評論社)他。

■江古 智則(エゴ トモリ) 氏

主任技師。2003 年日立ソリューションズ入社。情報システム部門に所属し、社内システム開発とシステム運用に従事してきた。2016 年に現部署の新設に伴い異動し、新たな技術を適用した独自発想の社内システム開発の取り纏めを行っている。

■未 東鋒(ミ トウホウ) 氏

技師。中国の IT ベンダに就職後、2014 年に日立ソリューションズ入社。Ruby 開発の専門部署に所属し、Ruby の生産開発基盤整備を行いながら、ユーザーシステム開発や製品開発の支援を実施してきた。2016 年に現部署の新設に伴い異動し、アジャイルと Ruby を適用した社内システム開発に従事している。

■川端 光義 氏

1998 年からソフトウェア開発を 15 年以上経験。2004 年に「バグがないプログラムの作り方」を出版、XPJUG 関西支部の代表を務め、アジャイル開発を現場で実践。ICSE2006 でアジャイル開発の経験論文を発表。2007 年に Ruby の受託開発を始め、2012 年に株式会社アジャイルウェアを設立。2014 年には OSS の Redmine 機能拡張プラグイン『Lychee Redmine』、2018 年には議

事録リアルタイム共有サービス『GIJI』を自社開発・販売する。自社サービスにおいても、顧客からの要望を形にしていくアジャイル精神をモットーとし、常に自社開発・受託開発のカイゼンに取り組んでいる。

■高畑 道子 氏

大学在学中にプログラミングを自力で学び、レンダリングツールを作成。卒業後はシステム会社に就職、30年以上システム開発稼業に身を置き、その傍ら SYSOP としてフォーラムを運営。2003年3月、株式会社 FM.Bee を設立。基幹システム、Web システムの開発から、コンシューマ向けのユーティリティ、スマートホンアプリ等の開発を手掛ける。2016年から総務省ふるさとテレワーク推進事業に複数参画し、サテライトオフィスの立ち上げや IT を使った雇用創出事業に携わる。また自社でも新しい働き方を実践し、在宅ワーカーや地方のパートナーとの連携で開発をおこなっている。2017年、ICT を使った地域活性化への取り組みを評価され、近畿情報通信協議会会長表彰をうけた。

5) 申込:

必要事項を記入してメールでお申し込みください。受付受理および注意事項を返信します。

<必要事項>

- ・氏名
- ・会社名
- ・所属
- ・携帯電話番号
- ・E-mail アドレス

<申込先>

yoshioka@invite.gr.jp (担当: 吉岡)

<締め切り> 2019年2月15日(金)

6) その他:

※定員(50名)に達し次第締め切ります。

※参加費は無料です。会場までの交通・宿泊の手配や費用負担は各自でお願いします。